



2015～16 年度
国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラン

Weekly Report Niigata



世界へのプレゼントになろう

2015～16 年度 国際ロータリーのテーマ



2015～16 年度
新潟ロータリークラブ会長
竹石 松次

新潟 RC5月第 2 例会 (2016.5.17) No.3134

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 竹石 松次 会長挨拶

伊藤文吉

昭和二年 (1927) ～

新潟市江南区沢海 (旧・中蒲原郡横越村沢海) で生まれる。

「豪農の館」で名を馳せている伊藤家は、江戸時代中期の宝暦六年

(1756) 現在の地、越後沢海で百姓として分家、以来、代を重ね八代に渡って伊藤文吉を名乗って継承されている。

現在の当主八代文吉は、昭和二年 (1927) に生まれた。

父の七代文吉は、大正七年、慶応大学を卒業、アメリカのペンシルベニア大学に留学、八年間アメリカで過ごし、大正十四年帰国した。三十歳であった。翌年、東京育ちの竹子と結婚、幼名吉彦、八代目文吉、幼名吉彦が誕生し、二男、三男が誕生、男三人、伊藤家にとっては目出度い昭和初期であった。

伊藤家は、百姓の傍ら藍、雑穀、質屋、倉庫業を営み、次第に財産を増やしていった。

天保八年 (1837) には「苗字帯刀」を許され、二代目から、伊藤文吉を名乗るようになった。

現在の建物は、五代目が、明治十五年から八年の歳月をかけて造った。敷地八千八百坪、建物面積千二百坪、部屋数は六十五部屋、敷地の周囲は、土塁に塀を建て、濠を巡らせるなど「豪農」である。

八代が幼少の頃、父は子供に質実剛健の気風を教育方針に据え、耐乏を旨とするなど伊藤家の今日を継承している。

伊藤家の苦難ともいえる出来事の一つが、太平洋戦争直後の、昭和二十年十月、進駐軍の来訪である。八代が高校一年生の時、ジープに乗ったアメリカ兵が家宅搜索のため腰に拳銃を装備した一団で、米蔵から GAS と印刷してある缶詰を数個持参し、説明を求められた。

後日、英語を話す七代目文吉が帰宅し、殺鼠剤であることを説明し、兵隊も了承した。

その後、英語が理解できることから、将校から家に招かれた際に、アメリカに留学していたことを告白、偶然にも将校と同じ大学、同窓と判明した。数カ月前、敵味方に分かれて戦争していた双方の二人が、沢海の館で会った。二十四歳の青年将校がラルフ・ライト中尉である。

中尉が、日本に来た目的は、戦後教育の改革を実行するためであり、アパート式住宅を目論んでいた屋敷を、七代目との対話で、今度は、日本文化伝承のため残すべしと方針転換、昭和二十一年、「財団法人史跡文化振興会」として存続が決まった。

帰国したライト中尉は、その後、音信不通となるが、八代目の時代となったある日、観光客として訪れた一人のアメリカ人が、名称が変更された「北方文化博物館」を訪れた際ライト中尉の搜索を約束、その後、ミネソタ州で健在との吉報を寄せてくれた。矢も楯もいらなくなった八代は、ロチェスターに向かい、高校の校長をしていた本人と四十年振りの再開を果たした。

昭和六十年 (1985)、ライト夫妻を日本に招いて歓談する機会を設定し、感謝の晩餐会を開催した。

八代伊藤文吉は、戦後の民間博物館第一号となった記念すべき施設を、これからも保存し継承することを決意、昭和六十三年 (1988)、邸内にライト中尉と七代伊藤文吉の記念碑を建立、この中には、日米友情のレリーフが埋め込まれている。

このような背景が、国際交流に一段と力を入れる行動を促している。

「国際人イコール『英語を話せる』』と言うが、確かに言葉は話せないより話せた方が良い。しかし、国際人とは、外国語の能力や、頻繁に外国旅行をしたり、外国の友人が多いということではない。国際人とは、自分の国をどれだけ知っていて、それを外国人に、どれだけ正確に説明できるかである。」

と明確に「国際人」の有り様を説いている。

行動面でも精力的で、アメリカの第三十九代大統領ジミー・カーターが提唱している「ザ・フレンドシップ・フォース」で、国が違う市民同士がホームステイを通じて、思考の違い、文化の違い、生活様式の違いを乗り越え世界平和に貢献しようという団体であり、この新潟クラブ会長として活動している。平成四年には新潟で世界大会が珙開催され、多くのアンバサダー (民間大使) を迎え入れた。

平成十三年からスタートした「にいがた緑の百年物語」では、推進委員会理事長として、森林整備、緑の少年団、

学校の森づくり運動の先頭に立っている。

平成二十六年十一月、新潟市の音楽文化会館で「世界的なチェリスト、パブロ・カザルス」を讃えて、弟子の平井丈一郎のコンサートが開催された。その時には、伊藤文吉、珠子夫妻も会場を訪れた。その際に館長が被っていた帽子は、何と五十年程前、オーストリアのウィーンでカザルスの演奏会に行き感動、その時、被っていた記念すべき帽子だと、そっと話してくれた。平和と人間愛に生涯を捧げたカザルスへの気遣いの一端を観た思いであった。

また、新潟市で140年の歴史を持つホテルイタリア軒の創業者、ピエトロ・ミリオレの生誕の地、イタリアのトリノを、当時のイタリア軒の金親頭男社長と著者が、訪問した際に、誰もがやらなかった大切なことを実行してくれたと、自分のことのように喜んでくれた。

今、自分が育っている『ふるさと』が、多くの先人の努力と多くの難局を克服して存在していることを『世界の目』の視点から考えることが如何に重要であるか、何時も示唆を受けている。

平成十二年（2000）本館母屋を含む二十六棟と新潟分館が、国の登録有形文化財に指定された。本館の壁面に、ここを訪れた東山魁夷画伯の一枚の色紙が飾られている。

「古い家のない町は、思い出のない人間と同じである」

(3) 新会員の紹介



SMBC日興証券(株)新潟支店支店長 早田 芳広君
ご紹介 町田 智君
所属委員会 出席委員会

この度、伝統と格式ある新潟ロータリークラブに入会させていただくことになりました、SMBC日興証券新潟支店長の早田と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。福島県で生まれ育ち、前任地は鳥取県の米子でした。新潟は5度目の単身赴任になります。まだひと月たらずですが新潟は口にすると美味しくとても居心地が良く、ニコニコボックスに楽しいことをたくさん報告できそうな予感がしています。例会出席はもとより社会奉仕活動等にも積極的に参加させていただき所存です。諸先輩方からのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(4) ロータリーの友紹介（石橋正利広報会報雑誌委員）

(5) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(織戸 潔委員長)

樋熊 紀雄君 織戸 潔君

米山奨学会寄付発表(小林 敬直委員長)

徳永 昭輝君

青少年育成基金寄付発表(吉田幹事)

本間 彊君 田村貫次郎君

新田 幸壽君

(6) ニコニコボックス紹介

・竹石 松次君 ゲストスピーカーの吉田真理さんをお迎えしてニコニコします。

・仙石正和君 先週の例会で、「2年皆勤賞」のバッジを武石会長から頂戴したとき、ニコニコボックスへの寄付を失念してしまいました。また、前回の横山芳郎先生の「江戸時代末期の粋なお話」の格調高い人生の過ごし方の卓話をお聴きして、感激し、ニコニコします。本日は、新潟中央ロータリークラブに卓話を頼まれて行ってまいります。とても横山先生のようなわけには参りませんが、ニコニコだけはして参りたいと思います。

・敦井 栄一君 竹石会長に敦井美術館のPRをしていただきましたので。

・本間 彊君 去る5月10日に行われました「青少年奉仕の夕べ」に多数の会員皆様はじめローターアクト、インターアクト、R財団奨学生 OB など関係各位にご出席頂き本当に有難うございました。その日のメインイベント、濱田道子さんのピアノ演奏は素晴らしく皆様から盛大な拍手で盛り上げて頂きました。

・塚田 正幸君 先週10日「青少年奉仕の夕べ」が開催され濱田道子さんのピアノと柴田さんの連弾を聴きました。とても良かったです。さらにRA,IAそしてロータリー財団学友の人達も出席してとても楽しい雰囲気でしたのでニコニコします。

・小田 等君 5/10の青少年奉仕の夕べでも濱田道子さんの映画音楽の素晴らしい演奏と私のリクエストした映画 カサブランカのアズ・タイム・ゴーズ・バイの演奏に感謝しニコニコします。

・浅田 龍一君 ロータリーに入れて頂き一年になりました。今後とも宜しくお願い致します。

・近藤 正典君 結婚記念日の御花、昨日届きました。有難うございます。家内はその花を見届け一人北海道に遊びに行きました。結婚34年、まあ、こんなものです。

・若杉 武君 誕生日祝ありがとうございました。今、私は喜寿祝の準備中であります。

(7) 表彰

・織戸潔さんへポール・ハリス・フェロー認証状とピン贈呈

・石本隆太郎さんへマルチプル・ポール・ハリス・フェローピン贈呈

(8) 卓話「私とキーン先生の出会い」

ドナルド・キーン・センター柏崎公益財団法人
ブルボン吉田記念財団 理事 吉田真理 氏

(9) 5月17日例会の出席率 70.83%

会員数100名（出席免除会員 9名）

出席者68名（出席免除会員6名を含む）

(2週間前メーク後 85.57%)

5月31日の例会予定

会員スピーチ「プレハブ住宅の歴史と2020年住宅問題」

大和ハウス工業(株)新潟支店支店長 井原 健至君